

## 北不明門・西不明門跡

北門から西へは北馬場<sup>きたばば</sup>が延びていて、その西端、松本神社の北に北不明門馬出し<sup>きたあかずのもんうまだ</sup>がありました。さらに鷹匠町<sup>たかじょう</sup>を通り南へ向かって折れると、松本税務署の前あたりに西不明門馬出し<sup>にしあかずのもんもん</sup>がありました。北には北門・北不明門と城門を2ヶ所設置し、北不明門馬出しから近距離に西不明門馬出しを設けるとい配置になっています。

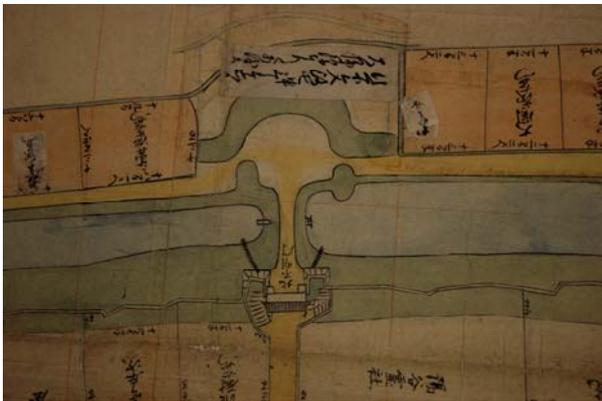
### ◎ 北不明門馬出し

現在地は、開智1丁目1, 2, 開智2丁目1, 10あたりの地籍で、現在の開智小学校の正門前方にありました。石造案内板が松本神社西側入り口にたてられています。

北不明門は、松本神社の西側に位置していました。現在ある南北の道をまたいで上げられた櫓門<sup>やぐらもん</sup>で、3間(約5.4間)×6間の規模、門の内側には広場はありませんでした。堀に架かる土橋は長さ16間、馬出しの部分の広さは約187坪で、番所は設けられていませんでした。

馬出しを出ると、東側は北馬場へ東側は鷹匠町へ続いていました。馬出しの前面にあたる北側には街路や人家はありませんでした。文政初年の絵図では、北馬場からの通りと馬出しの広場の境に木戸が設けられ、木戸番の小屋が描かれています。また、北門のわき、五社の西向かいには鉄砲矢場が描かれています。

「大守累年記」(河邊文書)には、水野忠直<sup>ただなお</sup>の代に北不明門が焼け再建されたという記事があります。ある夏の土用に桐油<sup>とうゆ</sup>(きりあぶらとも アブラギリの種子を絞って得る油、絶縁用・油紙用・灯用・駆虫用などとして用いる)を塗った合羽<sup>かつば</sup>を干して、北門二階にしまっておいたところ、そこから出火したといいます。門の二階は物品の保管場所として使用されていたようです。



北不明門馬出しの図(「享保十三年秋改松本城下絵図」より)



北不明門の模型(松本市立博物館蔵)



北不明門があったあたり



松本神社西門脇の案内板

◎ 西不明門馬出し

現在地は、城西2丁目1・2・4・5あたりの地籍で、現在の松本税務署近辺にありました。石造案内板が、松本市内科・小児科夜間急病センター北にたてられています。

西不明門は、櫓門で3間(約5, 4間)×6間の規模、門内は枳形風ますがたに広く空間が取られる的場が設けられていました。享保期の地図では、番所が枳形風の広場内と馬出し内と2ヶ所におかれ、井戸も広場内と馬出し部分に各1ヶ所描かれています。文政初年に写された絵図では、門内部の北側にあった作事所の南に**靱蔵**きくざうが描かれています。



西不明門馬出しの図

(「享保十三年秋改松本城下絵図」より)

堀に架かる土橋は長さ19間3尺ありました。馬出し部分は郭内が約298坪の広さでした。西不明門と呼びますが、往時は不明門でなく使用される門でした。

戸田氏の代に、殿様の光雄みつおが野行の帰りにこの門から入ろうとしました。ところが門衛は、者頭ものがしらから通達がなければ開けることはできないと、殿様の通行を拒否しました。これに怒った殿様はこの門衛を罰しようとしてしました。者頭の板橋政保は、門衛は非常の備えにおかれているのであって、通常の状態ではたとえ殿様の仰せでも開門を拒むのは当然であると殿様を諫めました。殿様はそれを聞いてなるほど納得し、門衛を咎めなかったということです(旧版『松本市史』)。



西不明門があったあたり



西不明門馬出しの説明版



北不明門の模型(松本市立博物館蔵)

堀は次第に泥がたまってくるので、堀さらいが必要です。1845(弘化2)年に行われた堀さらいは、2月末から仕事が始まりました。

それに先立ち藩から言い渡されたことは、

- ・当初の数日は庄内しょうない・岡田おかいで・高出たかいで・山辺など6組から日に250人の人足を出すこと
- ・作業の合図は太鼓と鐘でおこない、太鼓で仕事にかかり、鐘で休みと引き上げ時刻を知らせること日の出に集合し、西不明門外で銘々が極札きわめふだをつけてから入城すること
- ・朝8時に仕事を初め、日の入りで仕事を終えること

・ 休憩場所は西不明門内の靱蔵前で、通行できるのは西不明門だけとすることなどでした（「折井家文書」）。

女鳥羽川の水をしなぐら稲倉で大門沢川へ切り落とし、北馬場から外堀へいれ、北不明門からみろくいん弥勒院（松本神社の東）前を掘り割って内堀へ注ぎました。堀さらいは地蔵清水から始め、本丸・土井尻・西堀と進んだとあります（旧版『松本市史』）。

○明治末年 はす蓮池になっていた西堀の堀

馬出しの堀はいつの時代か水は張られなくなったようです。周辺にしほりの西堀地籍の総堀は、明治時代末期の写真に、蓮池として使用されていた様子が写っています。